



## 平成27年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月1日

上場取引所 東

上場会社名 ケイティケイ株式会社  
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月2日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 土岐 勝司  
 (氏名) 木村 裕史

TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第3四半期の連結業績(平成26年8月21日～平成27年5月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第3四半期	13,173	△2.8	16	△46.4	29	△29.3	△30	—
26年8月期第3四半期	13,549	64.0	30	△3.9	41	△7.0	△8	—

(注) 包括利益 27年8月期第3四半期 43百万円 (—%) 26年8月期第3四半期 3百万円 (△94.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第3四半期	△5.39	—
26年8月期第3四半期	△1.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第3四半期	8,959	2,589	28.9
26年8月期	8,626	2,557	29.6

(参考) 自己資本 27年8月期第3四半期 2,589百万円 26年8月期 2,557百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年8月期	—	0.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年8月期の連結業績予想(平成26年8月21日～平成27年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,694	△2.3	△65	—	△51	—	△95	—	△16.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期3Q	5,875,000 株	26年8月期	5,875,000 株
② 期末自己株式数	27年8月期3Q	152,861 株	26年8月期	152,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期3Q	5,722,149 株	26年8月期3Q	5,722,185 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料3ページ)「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年8月21日～平成27年5月20日)におけるわが国経済は、平成26年4月の消費税率引き上げ後の停滞はあったものの、政府主導の経済政策及び日本銀行の金融政策の下支えもあり、企業収益や雇用環境に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが位置するオフィス用品の分野においては、企業の収益に改善の傾向が見られるものの、企業のコスト削減意識は依然として強く、同業他社との受注を巡る価格競争は激しさを増し、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは引き続きお客様満足向上のために顧客接点の強化に努め、お客様へコスト削減と環境貢献につながる提案を積極的に展開しました。

これらの結果、売上高は13,173百万円(前年同四半期比2.8%減)となりました。営業利益は16百万円(前年同四半期比46.4%減)、経常利益は29百万円(前年同四半期比29.3%減)となりました。四半期純損失は、平成27年度税制改正(法人税等の引き下げ等)に伴う繰延税金資産の取り崩しなどにより、30百万円(前年同四半期は8百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (サプライ事業)

リサイクル商品は、当社グループの主力商品であるリサイクルトナーが、子会社の株式会社アイオーテクノによる販売が順調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

OAサプライ商品は、純正R(リサイクル)トナーやリパックインクなどのプリンター消耗品、タック紙や統一伝票などの紙製品、コンピューター用品の売上が順調に推移したものの、売上高は前年同四半期を下回りました。

その他商品においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」による一般事務用品などの売上高、連結子会社である株式会社青雲クラウン、S B Mソリューション株式会社の売上高が順調に推移したものの、前年同四半期を下回りました。

これらの結果、売上高は13,038百万円(前年同四半期比2.7%減)、セグメント利益(経常利益)は31百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

なお、今期より、その他商品には新たに連結対象となった株式会社キタブツ中部の売上高が加わっております。

また、当社の連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節の変動があります。

#### (ソリューション事業)

「@Securemail」シリーズを中心に販売活動を推進しましたが新規契約の獲得数が当初計画に及ばず、また大型SPIS-BOX案件の終了により、売上高は134百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。インフラ環境の効率化を目的とした設備投資を行い、セグメント損失(経常損失)は2百万円(前年同四半期は6百万円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ333百万円増加し、8,959百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ384百万円増加し、6,046百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が646百万円、商品及び製品が104百万円増加し、現金及び預金が379百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、2,913百万円となりました。これは、無形固定資産が42百万円減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ199百万円増加し、5,394百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が123百万円、短期借入金が85百万円増加し、賞与引当金が18百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、976百万円となりました。これは、主に退職給付に係る負債を112百万円計上し、長期借入金が59百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、2,589百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が73百万円増加し、利益剰余金が42百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、依然として当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くものと予想され、平成26年10月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、平成27年6月24日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,392,495	2,013,414
受取手形及び売掛金	2,657,270	3,303,632
有価証券	21,009	21,015
商品及び製品	442,160	546,787
仕掛品	66	249
原材料及び貯蔵品	54,926	59,870
その他	99,841	105,624
貸倒引当金	△5,818	△3,791
流動資産合計	5,661,951	6,046,802
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,104,279	1,104,279
その他(純額)	497,386	490,079
有形固定資産合計	1,601,665	1,594,358
無形固定資産		
のれん	102,532	98,260
その他	213,421	175,382
無形固定資産合計	315,954	273,643
投資その他の資産		
その他	1,054,421	1,053,637
貸倒引当金	△7,131	△8,527
投資その他の資産合計	1,047,289	1,045,110
固定資産合計	2,964,909	2,913,112
資産合計	8,626,861	8,959,914

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,123,244	3,247,230
短期借入金	1,572,257	1,657,394
未払法人税等	11,162	20,361
賞与引当金	36,223	17,990
その他	452,306	451,504
流動負債合計	5,195,194	5,394,480
固定負債		
長期借入金	674,617	614,857
役員退職慰労引当金	83,471	85,259
退職給付に係る負債	-	112,211
その他	115,839	163,733
固定負債合計	873,927	976,061
負債合計	6,069,121	6,370,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	708,475	708,475
利益剰余金	1,544,491	1,502,160
自己株式	△46,419	△46,431
株主資本合計	2,501,222	2,458,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,516	130,493
その他の包括利益累計額合計	56,516	130,493
純資産合計	2,557,739	2,589,372
負債純資産合計	8,626,861	8,959,914

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月21日 至平成27年5月20日)
売上高	13,549,797	13,173,403
売上原価	10,908,770	10,605,303
売上総利益	2,641,027	2,568,100
販売費及び一般管理費	2,610,384	2,551,667
営業利益	30,642	16,432
営業外収益		
受取利息	2,566	890
受取配当金	5,993	8,510
仕入割引	34,390	32,957
受取家賃	22,854	23,208
その他	10,267	8,017
営業外収益合計	76,072	73,583
営業外費用		
支払利息	17,861	16,601
売上割引	37,009	33,914
その他	10,318	10,137
営業外費用合計	65,188	60,653
経常利益	41,525	29,362
特別利益		
保険解約益	12,198	-
特別利益合計	12,198	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	270
たな卸資産廃棄損	37,805	-
固定資産除却損	6,181	-
特別損失合計	43,986	270
税金等調整前四半期純利益	9,737	29,092
法人税、住民税及び事業税	6,522	19,143
法人税等調整額	11,805	40,836
法人税等合計	18,328	59,979
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,590	△30,887
四半期純損失(△)	△8,590	△30,887

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年8月21日 至平成26年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年8月21日 至平成27年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,590	△30,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,498	73,977
その他の包括利益合計	12,498	73,977
四半期包括利益	3,908	43,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,908	43,090
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年8月21日 至 平成26年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,397,120	152,677	13,549,797	—	13,549,797
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	281	281	△281	—
計	13,397,120	152,958	13,550,078	△281	13,549,797
セグメント利益	34,622	6,903	41,525	—	41,525

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年8月21日 至 平成27年5月20日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,038,822	134,580	13,173,403	—	13,173,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	296	296	△296	—
計	13,038,822	134,876	13,173,699	△296	13,173,403
セグメント利益又は セグメント損失(△)	31,795	△2,432	29,362	—	29,362

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。